

住宅防火アドバイザー

～火災から命や財産を守るために～



/// よこはま防災e-パーク ///

火災・救急・地震・風水害などにどう備えればよいかを、動画等でわかりやすく学べるオールインワンの学習システムです。

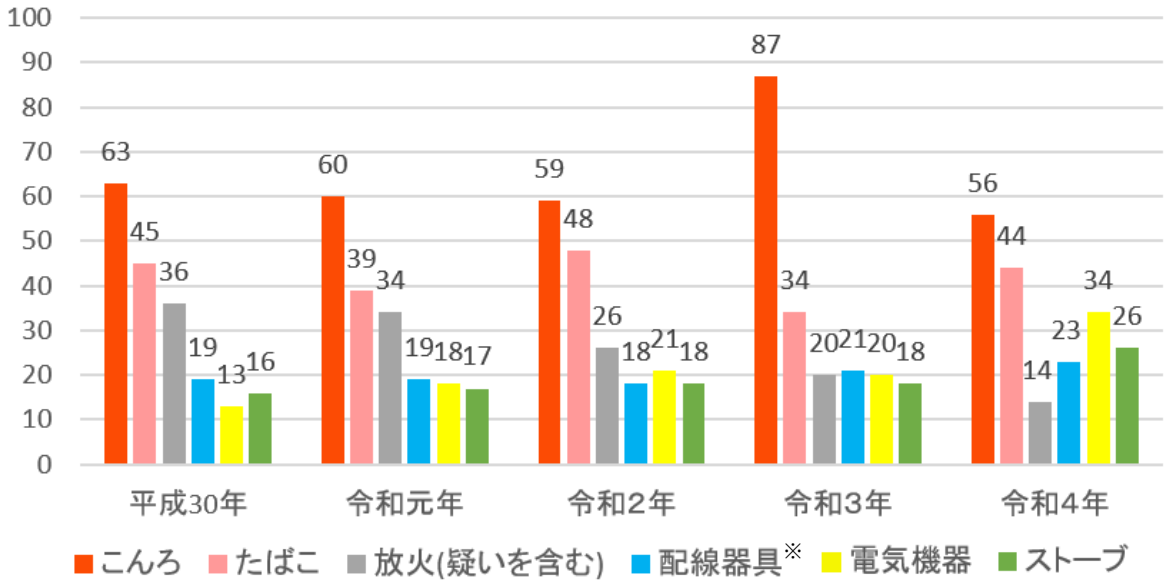
「よこはま防災e-パーク」で検索していただくか、右の二次元コードからアクセスしご利用ください。



二次元コード

住宅火災における傾向

市内住宅火災における最近の傾向



※壁付コンセントやテーブルタップ等

出火原因ワースト3 (令和4年)

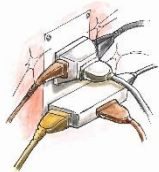
1位 **こんろ**



2位 **たばこ**



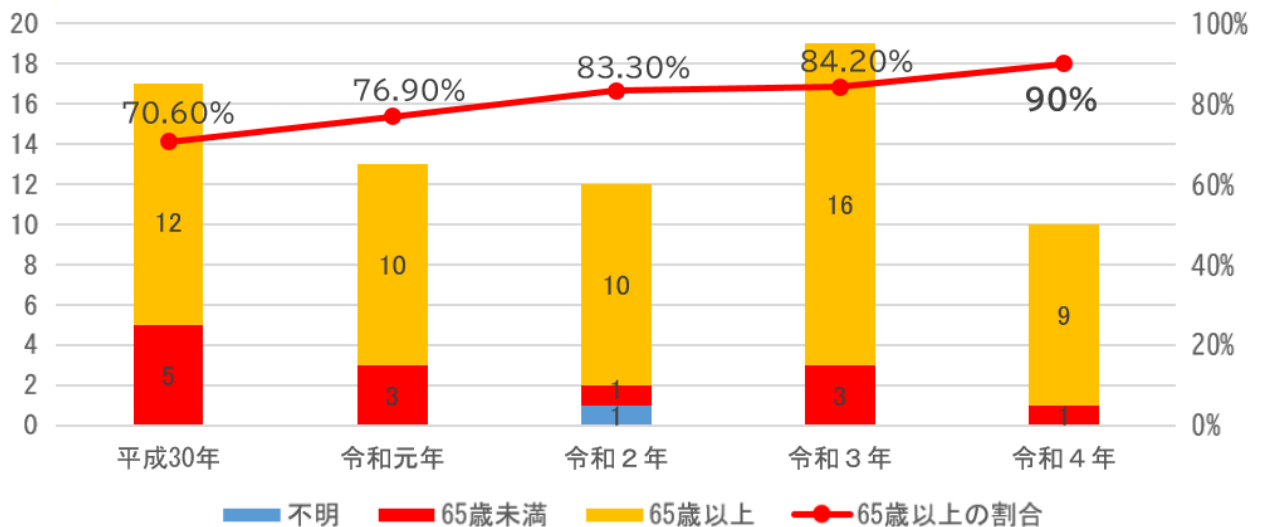
3位 **電気機器**



住宅火災の出火原因は、「こんろ」、「たばこ」、「電気機器」が上位となっており、配線器具を原因とする火災も増加しています。

高齢者が占める割合が増加

住宅火災による死者（放火自殺を除く）内訳



近年、住宅火災による死者のうち、高齢者が占める割合は高い水準が続いています。

住宅防火対策…こんろ火災



火をつけたらその場を離れないようにしましょう。



- ・ 食用油は、約370℃になると**自然発火**します。
(油の量や火の強さにより、発火までの時間は変わります。)
- ・ 発火した炎が周囲にあるものに燃え移ると大きな被害に繋がります。



こんろ周りやグリル内はこまめに清掃しましょう。



グリル内で出火



グリルを開け、酸素が流入したことで火災が拡大

- ・ グリル内の、魚等を焼いた際にたまった油に火がつき、火災になることがあります。

住宅防火対策…こんろ火災



着衣着火(着ている服に火がつくこと)に気をつけましょう。



- ・ こんろの奥に調理道具や調味料を置かないようにしましょう。
- ・ 調理する時はゆったりとした服や袖が広がった服を着ないようにしましょう。
- ・ 鍋底から炎がはみ出さないよう適切な火力に調整しましょう。
- ・ 火が接しても着火しにくい**防災処理**されたエプロンやアームカバーを使いましょう。

⚠️ 調理中に衣服に火がついてしまったら…

- ・ 慌てずに、落ち着いて、水をかけましょう。
- ・ タオルなどで叩いて消しましょう。
- ・ 背中などで手が届かないときは、その場に倒れて左右に転がりましょう。



こんろ火災対策

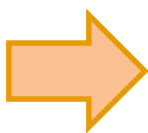
- 調理中はその場を離れないようにしている。
- 袖口をまくるなど、衣服に火が付かないように注意している。
- こんろ周りは整理整頓され、燃えやすい物を置いていない。
- グリル内はこまめに手入れし、油かすなどをためていない。
- ガスホースが劣化していない。

住宅防火対策・・・たばこ火災

- ・ 令和4年における横浜市内の全火災の出火原因は、昭和60年から連続第1位の「放火(疑いを含む)」に代わり、「たばこ」が最多となりました。



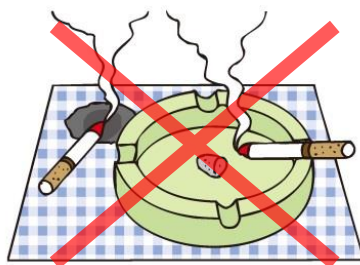
吸い殻をそのままゴミ箱に捨てるのはやめましょう。



- ・ 吸い殻はゴミ箱に入れる前に、**水に浸す**などして火が完全に消えていることを確認しましょう。



寝たばこや吸いかげのたばこを放置するのはやめましょう。



- ・ 寝たばこや灰皿に吸いかげのたばこを放置したことで、たばこが布団等に落下し、火災になることがあります。

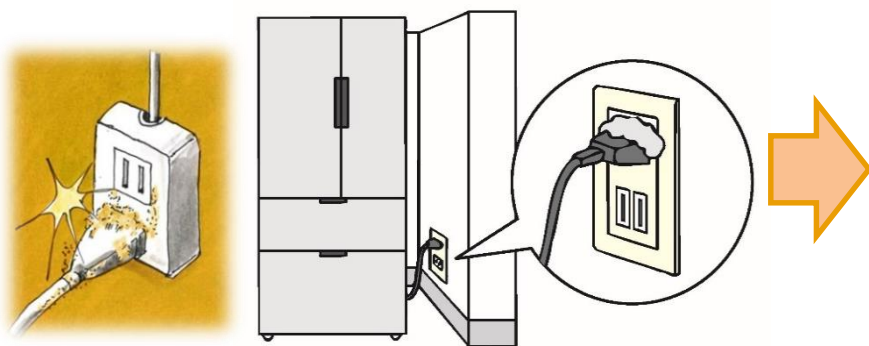


たばこ火災対策

- 灰皿に水を入れている。
- 灰皿に吸い殻がたまっていない。
- 灰皿の周りに燃えやすい物を置いていない。
- 寝たばこはしない。
- 不意に落下する灰(火種)に注意する。



コンセントやプラグは定期的に掃除しましょう。

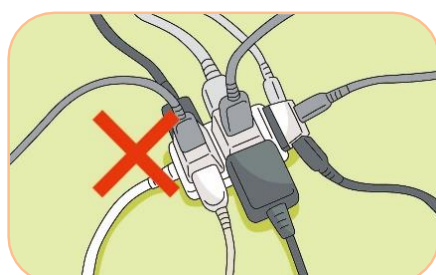
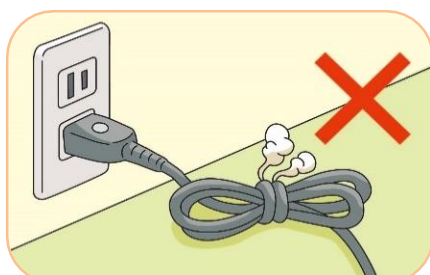
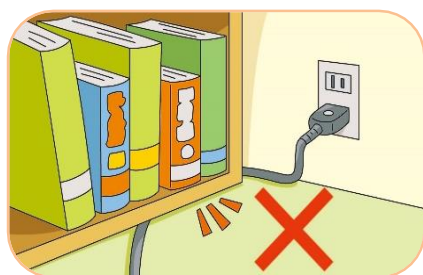


コンセントやプラグにホコリが付いた状態で長時間使用すると、、、

配線がショートを起こし、出火することがあります。

⚠️ コンセント・プラグ・コードの注意事項

- ・ 電源プラグの抜き差しを行う際は、必ずプラグ本体を持って抜き差しする。
- ・ プラグはコンセントと緩みがないか、しっかり差し込まれているか点検する。
- ・ コードを束ねたり、ねじれたまま使用しない。
- ・ コンセントやコード、テーブルタップには使用できる電力量に制限があるため、表示された許容量を確認して使用する。



電気火災(配線器具)対策

- コンセントやプラグにホコリがたまっていない。
- コードがカーペットや家具の下敷きになっていない。
- コードを束ねたまま使用していない。
- たこ足配線をしていない。
- 劣化が進んだ古い家電製品やコード、プラグを使用していない。

住宅防火対策・・・放火火災

- ・「放火」による火災は、横浜市の全火災における出火原因で、上位となっており、夕方から深夜にかけて多く発生するという特徴があります。



放火されない、放火させない環境を作りましょう。



ゴミは決められた日時に出しましょう。



家の周りは照明等を点灯し、明るくしましょう。



家の周りは整理整頓し、燃えやすいものを置かないようにしましょう。



物置や車庫には鍵をかけましょう。



放火対策

- ごみは指定された日時・場所に出している。
- 家の周りに常夜灯や人感センサーライトを設置している。
- 家の周りは整理整頓し、燃えやすい物は置いていない。
- 物置、車庫は鍵をかけている。
- 車両のボディーカバーは「防災製品」を使用している。
- 共同住宅の廊下や階段に物を置かないよう管理している。

住宅防火対策・・・ストーブ火災



ストーブの上に洗濯物を干すのはやめましょう。



ストーブの上に干された洗濯物



洗濯物が落下



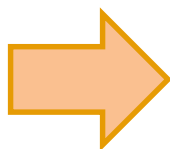
時間経過し、出火



ストーブからは適切な距離をとり、就寝前に電源を切りましょう。



布団の近くで電気ストーブを使用



寝返りをうった時に、布団がストーブに接触し、一定時間経過後、接触部分から出火

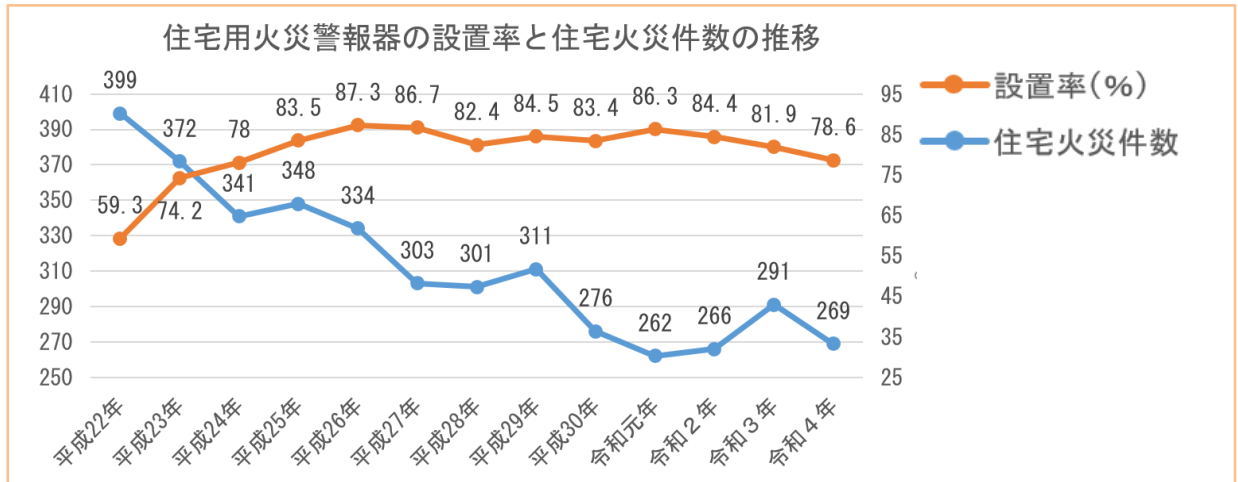


ストーブ火災対策

- ストーブの周りに燃えやすい物を置いていない。
- ストーブを使用したまま寝ていない。
- 石油ストーブの使用中に給油をしていない。
- ストーブの近くではスプレー缶を使用しない。
- 電気ストーブを使用しない時は、電源プラグをコンセントから抜いている。

火災を防ぐために・・・住宅用火災警報器

- ・ 火災で亡くなる方のほとんどは、**逃げ遅れ**が原因です。
- ・ 火災の早期発見と早期避難のため、**住宅用火災警報器**を設置しましょう。



日頃から機器の掃除や点検をしましょう。

住宅用火災警報器は感知部分にほこりが付いたり、台所の油や煙で汚れて、火災を感知しにくくなることがあります。

◆点検方法◆

- ① テストボタンを押すか引きひもを引っ張ります。
 - ② 警報音(ブザーや音声)を確認します。
- ※ 警報音が鳴らない場合、電池切れや故障の可能性がります。



10年経ったら交換しましょう。

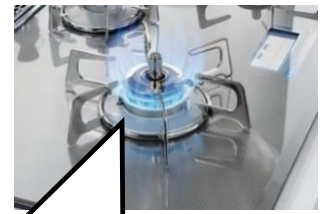
古くなった警報器は、電池の消耗や部品の劣化が考えられるため、**10年**を目安に交換しましょう。

火災を防ぐために・・・Siセンサーコンロ

Siセンサーコンロとは全てのバーナーに**温度センサー**などを搭載したコンロです。

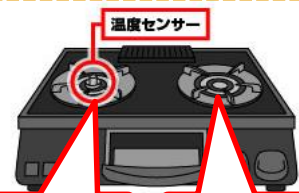
〈主な特徴/機能〉

- ・ 煮こぼれなどで火が消えると、ガスを遮断する「**立ち消え安全装置**」
- ・ コンロと魚焼きグリルの火を一定時間で消火する「**消し忘れ消火機能**」
- ・ 油の温度が250℃になると、自動的に消火し発火を防ぐ「**調理油過熱防止装置**」



平成20年10月より前に販売されたガスコンロは、「**温度センサー**」がバーナーのどちらかだけに設置されている場合があります。

揚げ物調理は必ず、「**温度センサー**」が付いているバーナーを使用しましょう。



※出典 一般社団法人 日本ガス石油機器工業会

火災を防ぐために・・・住宅用自動消火装置

- ・ 火災の熱を感知して、自動で液体や粉末の消火薬剤を放射する簡易な消火装置です。「レンジフード設置型」、「壁面設置型」、「天井設置型」などがあります。



ストーブから出火し、センサーが熱を感知



出火から約1分後、消火薬剤放射



消火成功！

札幌市消防局消防科学研究所より写真提供

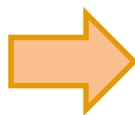
火災で命を落とさないために・・・初期消火

◆ 消火器の使い方 ◆

- ① まず、周りに「**火事だー！**」など大きな声で火災を知らせ、協力を求めます。
- ② 燃えているものを確認できる安全な位置まで消火器を運びます。
※ 消火を失敗してしまった時のために、**必ず逃げ道を確保**しておきましょう。
- ③ 消火器の**黄色い安全栓**を引き抜きます。



- ④ ホースを外し、ノズルの先をしっかりと持って火元に向け、**レバー**を握ります。
※ レバーが硬い時は消火器を置いてレバーを上から押します。



- ⑤ ほうきで掃くように、燃えている物に薬剤を噴射してください。



- ・ 放射距離は、**3～5メートル**、放射時間は**12～15秒**くらいです。
- ・ 天井に火が達してしまったら、消火をあきらめて避難しましょう。

火災で命を落とさないために・・・安全な避難

① 最も危険なのは煙です

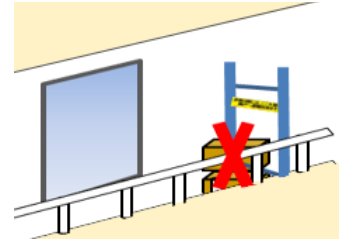
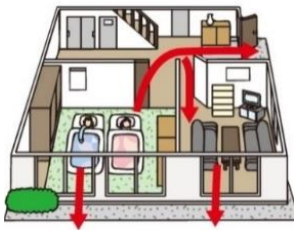
- ・ 火災による死者の多くは、煙を吸って意識がなくなり、逃げ遅れてしまった人です。
- ・ 煙は上(天井)からたまり、初めは下(床)の方ほど薄いので、避難する時は煙を吸わないよう、**姿勢を低くして**、避難します。



② 避難したら、

- ・ 逃げ遅れた人がいる場合は、近くの消防職員に必ず伝えてください。
- ・ 避難した後は**絶対に戻らない**でください。

③ 日頃からの対策



避難経路を確認しておきましょう。

共同住宅のベランダには、隣に避難できる仕切板があります。いざという時のために、避難経路には物を置かないようにしましょう。

119番通報の流れ



慌てずに落ち着いて、正しく情報を伝えることが重要です

通報者

【119】をプッシュ

「火事です。」

〇区〇〇町〇丁目〇番地〇号
です。〇〇の目の前です。

住所がわからなければ、
近くの目標物でも構いません。
例:〇〇小学校の目の前です。

〇〇で〇〇が燃えています。
燃えている場所、物を伝えます。
例:台所で鍋から火が出ています。

横浜 太郎です。

消防司令センター

119番消防です。
火事ですか、救急ですか？

消防車が向かう住所はどちらですか？

どこで、なにが燃えていますか？

あなたの名前を教えてください。
消防車が向かいます。

あなたの家の住宅防火対策をチェックしてみましょう！

☑ 住宅防火チェックリスト

こんろ火災対策

- 調理中はその場を離れないようにしている。
- 袖口をまくるなど、衣服に火が付かないように注意している。
- こんろ周りは整理整頓され、燃えやすい物を置いていない。
- グリル内はこまめに手入れし、油かすなどをためていない。
- ガスホースが劣化していない。



たばこ火災対策

- 灰皿に水を入れている。
- 灰皿に吸い殻がたまっていない。
- 灰皿の周りに燃えやすい物を置いていない。
- 寝たばこはしない。
- 不意に落下する灰(火種)に注意する。



電気火災対策

- コンセントやプラグにホコリがたまっていない。
- コードがカーペットや家具の下敷きになっていない。
- コードを束ねたまま使用していない。
- たこ足配線をしていない。
- 劣化が進んだ古い家電製品やコード、プラグを使用していない。



放火対策

- ごみは指定された日時・場所に出している。
- 家の周りに常夜灯や人感センサーライトを設置している。
- 家の周りは整理整頓し、燃えやすい物は置いていない。
- 物置、車庫は鍵をかけている。
- 車両のボディーカバーは「防災製品」を使用している。
- 共同住宅の廊下や階段に物を置かないよう管理している。



ストーブ火災対策

- ストーブの周りに燃えやすい物を置いていない。
- ストーブを使用したまま寝ていない。
- 石油ストーブの使用中に給油をしていない。
- ストーブの近くではスプレー缶を使用しない。
- 電気ストーブを使用しない時は、電源プラグをコンセントから抜いている。



防火に役立つ機器

- 住宅用火災警報器を設置し、適切に維持管理している。
- Siセンサーコンロを使用している。

